



2023年11月 8 日

各 位

会 社 名 株式会社テクノマセマティカル
代表者名 代表取締役社長 田中 正文
(コード番号 3787 東証スタンダード)
問合せ先 取締役副社長 出口 眞規子
(TEL. 03-3492-3633)

2024年3月期第2四半期累計期間および通期 業績予想の修正に関するお知らせ

決算集計状況を踏まえ、2023年5月12日に公表いたしました2024年3月期第2四半期累計期間の業績予想を修正するとともに、下期の見込みを慎重に精査した結果、通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2024年3月期第2四半期累計期間 (2023年4月1日～2023年9月30日)

(単位：百万円、円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	280	△69	△71	△72	△27.77
今回修正予想 (B)	199	△135	△121	△122	△47.35
増減高 (B - A)	△81	△66	△50	△50	—
増減率 (%)	△28.9%	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2023年3月期第2四半期)	203	△113	△104	△105	△40.80

(2) 2024年3月期 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(単位：百万円、円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	720	26	22	16	6.17
今回修正予想 (B)	620	△58	△47	△52	△20.05
増減高 (B - A)	△100	△84	△69	△68	—
増減率 (%)	△13.9%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	599	△53	△43	△46	△17.85

2. 修正の理由

(1) 2024年3月期第2四半期累計期間（2023年4月1日～2023年9月30日）

売上高は、ソリューション事業はほぼ計画通りとなり、ライセンス事業ではソフトウェア部門、ハードウェア部門ともにロイヤルティは比較的堅調だったものの、両部門とも新規案件の獲得がほとんどなく、計画値を大きく下回ることとなりました。また、利益面も、売上高の計画大幅未達の影響により、赤字幅拡大となりました。なお、部門別の売上計画達成率は次のとおりです。ソフトウェアライセンス事業 50%、ハードウェアライセンス事業 70%、ソリューション事業 98%。

(2) 2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）

当社といたしましては、引き続き営業努力を傾注し両事業において案件獲得に邁進する所存ですが、当第2四半期までの実績と現時点での下期の案件獲得見込みを慎重に精査しました結果、売上計画の未達とそれによる各利益段階への影響は大きいものと見込まれ、2023年5月12日に公表いたしました通期業績見通しの達成は困難と判断し、誠に残念ではありますが、上記のとおり修正いたします。

なお、売上高の内訳は次のとおりです。

- ・ソフトウェアライセンス事業：125百万円（前期比0.4%増）
- ・ハードウェアライセンス事業：285百万円（前期比11.4%減）
- ・ソリューション事業：210百万円（前期比37.2%増）

なお、上記、第2四半期累計期間及び通期業績予想の経常利益、四半期純利益及び当期純利益につきましては、2023年8月9日付「営業外収益（為替差益）の計上に関するお知らせ」にて公表いたしました為替差益6百万円及び2023年9月5日付「営業外収益（投資有価証券売却益）の計上に関するお知らせ」にて公表いたしました投資有価証券売却益7百万円の影響を織り込んでおります。

以上

(注) 上記の見通しは、本資料作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後様々な要因によって記載内容と異なる可能性がありますので、当公表の内容に全面的に依拠して投資等の判断を行うことはお控えいただきますようお願い申し上げます。